

認定資格既取得者における資格更新“特例措置”にかかる課題

受講したアドバンスコース 22 講座の中で最も興味を持った内容の詳細について、関連する自験例の診断・治療・予後等に関する客観的データをまじえつつ、3,000 字以上にまとめて提出せよ。なお、図や表の数については特に制限しない（字数にはカウントしない）。

投稿要領

1. 原稿はWordファイルにてA4判用紙に横書きとし、新仮名遣い、当用漢字を用いること。原稿には必ず行番号と右上に頁番号を入れること。フォントの大きさは10.5ptとし、MS明朝のフォントを使用すること。余白は上35mm、下30mm、左30mm、右30mm、とすること。文頭には数字や計測単位を用いず、改行は1文字分あけて書き出すこと。用語は獣医循環器学用語集、日本獣学会および日本循環器学会などの用語集を参考にすること。
2. 著者名（例 Taro YAMADA）、所属機関名とその住所とともに責任著者の所属機関名、連絡先住所、メールアドレスを表記すること。さらにキーワード（5語以内）を記入すること。
3. 略語を使用する場合については初出時に綴りを略さず記述すること（例 Left ventricular end-diastolic diameter (LVEDd)）。
4. 症例、考察、文献、表の説明、図の説明の順に記載する。
5. 外国人名、地名等は元の綴りのままでする。数字は算用数字とする。動植物名はカタカナで記載し、学名にはイタリックになるように下線を引くこと。医薬品の名称は、日本医薬品一般的名称データベース(JAN)に従うこと。
6. 原図および表は線の太さ、字体等が明瞭なものとし、そのまま製版できるもの（解像度300 dpi以上が望ましい）とすること。原図の作成にあたっては、刷り上り時の横幅と縦幅のバランスを十分考慮し、JPEGあるいはTIFファイルで作成すること。
7. 図表類には表題および番号を記入すること。図表そのものは本文とは別に記載すること。図1、表1のように記載する。
8. 度量衡の単位は原則として国際単位系(SI単位)により、 μm 、 mm 、 cm 、 m 、 μg 、 mg 、 g 、 kg 、 Pa 、 kPa 、 μL 、 mL 、 L 、 mmol 、 mol 、 μM 、 mM 、 M 、 ppm 、 mol/L 、 mg/mL 、 $\%$ 、 s 、 min 、 hr 、 S.D. 、 S.E. 、 s.c. 、 i.c. 、 i.m. 、 i.v. 、 i.p. 、 p.o. 、 Bq 、 Ci 、 Sv 、 Gy 、 cpm 、 $^{\circ}\text{C}$ などを用いること。ただし、血圧と熱量の単位はそれぞれ mmHg と cal を用いることができる。特殊な単位を用いる場合は必ず簡単な説明を加えること。
9. 文献は引用順とし、末尾文献表の番号を片括弧とともに右上肩に付すこと。雑誌は著者名、表題、誌名、年次(西暦)、巻、開始頁-終了頁の順に記載すること。著書は表題、著者名、書名、(版数)、編者、発行者名、発行地名、年次(西暦)、引用頁(開始頁-終了頁)、の順に記載すること。文献の記載の仕方は下記の例に従うこと。
 - ・ 和文雑誌
村上隆之、萩尾光美. ウシの両大血管起始. 動物の循環器. 1994. 26: 78-81.
 - ・ 英文雑誌
Suzuki S, Fukushima R, Ishikawa T, Hamabe L, Aytemiz D, Huai-Che H, Nakao S, Machida N, Tanaka R. The effect of pimobendan on left atrial pressure in dogs with mitral valve regurgitation. J Vet Intern Med. 2011; 25: 1328-1333.
 - ・ 和文著書
小動物心疾患の診断. 若尾義人：家畜の心疾患(澤崎 坦監修). 文永堂、東京. 1984; pp. 57-90.
 - ・ 英文著書
Pathophysiology and Therapy of Heart Failure. Strickland KN. In: Manual of Canine and Feline Cardiology, 4th edn. Tilley LP, Smith FWK Jr, Oyama MA, Sleeper MM, eds. WB Saunders, Philadelphia. 2008; pp. 288-314.

課題の提出の際に日本獣医循環器学会への著作権が譲渡されることを意味し、著作権は本会に帰属する。

E-mail(原本を写したPDFファイル)で日本獣医循環器学会編集委員会へ提出すること。

提出先：獣医認定委員会事務局

v-junkan@as.bunken.co.jp